

一般社団法人日本人間工学会第66回理事会 議事録

1.開催日:2023年4月24日(月) 18:00~20:00

2.開催場所:Zoomによる遠隔会議

3.出席理事:<敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):鳥居塚崇(理事長),青木洋貴(学術),石橋圭太(若手支援),榎原毅(編集・国際・国際誌・将来構想),笠松慶子(財務),狩川大輔(安全),久保博子(学術),鴻巣努(表彰),境薫(若手支援),佃五月(企業活動),中川千鶴(総務),能登裕子(学術),持丸正明(将来構想),横井元治(総務),横山詔常(企業活動) [15名]

(理事兼支部長):小林大二(北海道・第65回大会),三林洋介(関東),斎藤真(東海),小谷賢太郎(関西・国際),石原茂和(中国・四国),庄司卓郎(九州・沖縄) [6名]

[計:21名]

(欠席者):青木宏文(広報),河合隆史(財務),神田幸治(若手支援),高橋信(東北),中西美和(副理事長),松田文子(広報),吉武良治(表彰)

・オブザーバー:井出有紀子(認定機構),佐藤洋(JENC),下村義弘(第64回大会),八木佳子(認定機構)

・監事:赤松幹之,大須賀美恵子

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4.議事概要

定足数14名を超える21名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1)第1号議案 2023年定時社員総会及び配布資料案について(理事長・総務・財務)

5月27日開催の2023年定時社員総会資料について、総務の中川理事より2022年度事業報告と2023年度事業計画が、財務の笠松理事より2022年度収支決算と2023年度予算について説明があった。総会資料へのコメント・修正の締切は5月11日(木)とする。

説明と質疑について、主な点は下記の通り。

【2022年度収支計算書】第63回大会より約148万円寄付があったこと、2022年度収支は黒字となった旨報告があった。予算と決算が乖離した科目について、説明を準備しておいたほうが良い旨、意見があった。講演会収入が0円だったことについて、準備が遅れているが今後早期に開催したい旨、鳥居塚理事長より説明があった。

【2023年度事業計画】有料セミナーの開催について事業計画に記載がない旨指摘があり、追記することになった。また、5月総会時のイベント開催についても追記する。

【2023年度収支予算書】約45万円の赤字予算。今後の理事会開催形態の予定について質問があり、

現地とオンラインのハイブリットで開催したいが、交通費がかかるので、基本的には総会時理事会の1回分のみ予算計上している。

支部活動費について、対面開催が増えているので厳しい旨意見があり、交通費などで予算を超える場合は事前に事務局・財務へ相談してもらえれば支出できる可能性がある旨、説明があった。

(2) 第2号議案 2023年5月27日(土)開催イベントについて(理事長)

鳥居塚理事長より、総会開催日の5月27日スケジュールについて説明があった。総会同日に、学会主催イベントと懇親会(情報交換会)を開催する。イベントタイトルは「人間工学の現状と将来」、発表者は持丸理事と榎原理事で、発表後に参加者とディスカッションを行う。

イベントは代議員以外の学会員も現地・オンラインとも参加可、現地会場は慶應義塾大学矢上キャンパス。

また、同日に理事会メンバーの情報交換会を開催するので、可能であれば現地会場にて参加してほしい旨呼びかけがあった。

(3) 第3号議案 2023年定時社員総会における各種表彰受賞者について(表彰委員会)

鴻巣表彰副委員長より、論文賞1件、研究奨励賞1件、人間工学グッドプラクティス賞として最優秀賞1件と優秀賞1件の推薦があり、承認された。

(4) 第4号議案 特集記事企画案について(編集委員会)

榎原編集委員長より、企画内容は調整中で、次回理事会で提示する旨説明があった。今回は審議無し。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 第65回理事会議事録について報告した。

(1-2) 新入会と退会

2023年3月末時点での会勢について報告があった。退会時に退会理由を確認したほうが良いのではと意見があり、今後確認することになった。

(1-3) メールによる審議および報告事項等の結果1件について報告した。

(1-4) 協賛等の依頼4件について報告があった。

(1-5) インターンシップ情報のHP掲載について

賛助会員へのサービスの一環として、会社のインターンシップ情報を学会HP等に掲載を進めたいと考えており、掲載希望などあれば事務局に連絡がほしい旨お願いがあった。

(1-6) 学会HPのリニューアル準備について(理事長)

現在のHPはリニューアルして10年たつので、次のリニューアルに向けて準備を開始したい旨、説明があった。まず準備委員会を立ち上げ、1-2年後を目途に準備を進める。

(2) 第64回大会(2023年9月7~8日)準備状況報告

下村大会長より、大会の現地参加者人数を増やす可能性があること、特別講演をぜひ聴講してほしいことなどの準備状況の報告があった。また、大会ポスターを作成しており理事会メンバーに送付するので掲示にご協力してほしい旨、お願いがあった。

(3) 担当・委員会報告

(3-1) 広報委員会

今回はなし。

(3-2) 編集委員会

榎原委員長より、学会誌の発行は予定通り進んでいることの報告があった。論文投稿については特に、リサーチ・イシューと実践系の論文投稿を募集している。

(3-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、前回理事会で審議した定義の試訳については、現在検討中でIEA 会長来日の際にはご意見をいただく予定である旨、報告があった。

(3-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、ISO 規格の投票等の対応を継続して実施していること、標準化貢献賞の受賞候補者選出をしたこと、便覧の改訂作業中である旨、報告があった。

(3-5) 表彰委員会

鴻巣副委員長より、各賞審議のための準備をした旨、報告があった。

(3-6) 安全人間工学委員会

狩川副委員長より、6月22日、23日に開催される安全工学シンポジウムの幹事学会として準備を進めており、4月14日に第3回実行委員会を開催し、以下の内容について議論した旨、報告があった。

- ・プログラムの大枠を提示し、現在、特別講演の時間帯に関して最終調整を行っている。
- ・2024年度からの共催金について、先日、JES 理事会でご承認頂いたとおり、35,000円とすることで承認された。

(3-7) 学術担当

青木担当理事より、学術担当と理事長で打ち合わせを実施し、学会活動の活性化のために学術担当を委員会化するための議論をこれから開始する予定の旨、報告があった。

(3-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より、4月14日に総会と講演会を対面とオンラインのハイブリッドで開催したことの報告があった。準専門家とアシスタントの現在の資格制度と、検討を進めている改定案について詳細の説明があり、今後機構内外で意見募集などをした上で、理事会審議事項として提出する旨、説明があった。理事会承認後、2024年4月機構総会での承認を得てから運用を開始したい。専門家資格と異なり準専門家資格はIEA エンドースではないが、諸外国の資格内容を確認し、乖離しすぎないかを確認してほしい旨意見があった。

(3-9) 若手支援委員会

石橋副委員長より、前回審議した「卒業後(修了後)2年間」を準会員の資格とする件について、司法書士に定款上問題がないことの確認を行ったので、予定通り進める旨報告があった。休会制度については司法書士に確認中だが、定款の大幅な改定が必要になると考えており、もう少し時間がかかる旨説明があった。

準会員制度については理事会承認で進められるので、具体的な内容について文章を作成した上で運用を開始したい旨、理事長より説明があった。準会員に正会員に移行してもらいたいというのが本制度の趣旨であり、学生さんへの呼びかけについて総務より協力をお願いがあった。

(3-10) 企業活動推進委員会

佃委員長より、3月に学会員と機構会員の企業の方に依頼した「人間工学を活用した製品・サービス開発に関するアンケート」の調査結果について資料を基に報告があった。107名より回答があった。セミナーに関するアンケートも取っているため、今後学会主催セミナーや各委員会等でセミナーを開催す

る際に参考にしてほしい。

榎原編集委員長より、貴重な報告なので、アンケート結果について IEA コアコンピテンシーも参考にした上で、リサーチ・イシューや実践報告として論文投稿してほしい旨コメントがあった。

(3-11) 国際誌検討委員会

今回はなし。

(3-12) 子どもの ICT 活用委員会

今回はなし。

(3-13) 将来構想・普及委員会

持丸委員長より、行政に積極的に働きかけを進めることについて委員会内で議論を進めていること、またそのことについて総会時イベントにて発表とディスカッションを行う予定であることの報告があった。

(3-14) PSE 委員会

鳥居塚委員長より、IEA コンピテンシーの和訳を認定機構と協力して進めており、総会までには IEA プレスより出版する予定の旨、報告があった。

(4) 支部報告

(4-1) 北海道支部

小林支部長より、2024 年全国大会の開催候補日は 2024 年 6 月 15 日(土)~16 日(日)または 6 月 22(土)~23 日(日)であることの説明があった。現時点では対面開催の予定。

(4-2) 東北支部

狩川理事より、支部研究会の準備を進めている旨、報告があった。

(4-3) 関東支部

三林支部長より、3 月 17 日に JAXA で講演会・見学会を開催したことの報告があった。関東支部大会は 12 月 2 日(土)に東京都立大学 松井岳巳大会長にて開催する。

(4-4) 東海支部

斎藤支部長より、4 月 10 日に役員会を開催したことの報告があった。5 月 20 日に支部総会、11 月 11 日(土)に支部研究大会を椋山女学園大学 増田智恵大会長にて開催する。

(4-5) 関西支部

小谷支部長より、3 月 18 日に支部総会・講演会を開催したことの報告があった。

(4-6) 中国・四国支部

石原支部長より、4 月 10 日に支部理事会を開催したことの報告があった。2023 年支部大会は 12 月上旬に広島国際大学 石原大会長にて開催する。今年度は支部講演会も開催する予定。

(4-7) 九州・沖縄支部

庄司支部長より、講演会や見学会などのイベントを支部大会とは別に開催予定の旨、報告があった。

(5) その他

今後の理事会日程について

鳥居塚理事長より、5 月 27 日総会同日に理事会メンバー情報交換会を開催するので、ぜひご出席いただきたい旨、お願いがあった。

(6) 閉会

以上の議事を終え、20時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2023年4月24日

代表理事

鳥居塚 崇^印

監事

赤松 幹之^印

監事

大須賀美恵子^印